別記第8号様式の3(第10条の2の2関係)

東京都の様式とは条例に基づく様式が異なりま。
豊島区の報告書様式をHP からダウンロード
(様式が変わっている可能性があります)

建　築　工　事　施　工　計

建築基準法第12条第５項の規定に基づき、下記のとおり建
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

R　○　年　○　月　　○日

豊島区長

記載内容は確認申請書や申請図書と一言一句合わせてください。

代表となる工事監理者　住　所　東京都豊島区池袋○－○－○○
電話　03(○○○○)○○○○
会社名　(株)○○設計事務所　(一)級建築士事務所(東京都)登録第(○○)号
氏　名　豊島　ななまる　(一)級　建　築　士(大臣)登録第(○○)号

提出先を確認してください。

工事施工者　住　所　東京都豊島区池袋○－○－○○　電話03(○○○○)○○
会社名　○○建設(株)　建設業の許可　(大臣)・知事○○第(○○)号
氏　名　代表取締役　東京　花子
品質窓口責任者氏名　東　京子　電話　03(○○○○)○○

B方式(本社等の支援体制が組み込まれた品質管理)の場合のみ記入

(1) 工事現場	名　称	池袋○丁目新築工事	工区 1 棟	工事の種類	(新築)・増築・改築	
	所在地	豊島区　池袋　○丁目○-○　(地名地番)				
(2) 構造設計者	氏名	豊島　ななまる	所属会社	株式会社○○○ 構造設計事務所	電話03(○○○○)○○	
(3) 現場代理人(所長)	氏名	安全 工児	現場事務所	豊島区池袋○-○-○ ※現場事務所の住所	電話03(○○○○)○○	
(4) 階数	地上　○階・地下　○階　塔屋　階		(5)建築面積	○○.○m²	(6)延べ面積	○○.○m²
(7) 構造	木造・S造・(RC造)・WRC造・SRC造・混構造(　　造＋　　造)・その他(　　)					
(8) 高さ	軒高○○.○○m　最高○○.○○m		(9)確認済証交付機関	株式会社○○○○○○○		
(10) (確認)・計画通知、年月日及び番号	令和○年　○月　○日		第○○－○○○－○○○号			
(11) 計画変更年月日及び番号	令和○年　○月　○日 年　月　日		第○○－○○○－○○○号 第　　号			
(12) 構造計算の方法	(X)　ルート(　3　)、(Y)　ルート(　3　)、その他(　　)					

(13) 構造(階ごと)	(RC造)・WRC造	1階から　4階まで	(14) 使用部位	PCa・HPCa	スラブ (HPCa)
	SRC造	階から　階まで		PC	
	S造	階から　階まで		CFT	
	PCa	○階から　○階まで		木造	階段

(15) 認定材料	コンクリート	高強度コンクリート　MCON○○○○	※　受　付　欄
	鋼材等		
	免震・制振部材		
	その他	高強度せん断補強筋　MSRB-○○○○	

認定品があれば認定証の写しを添付

(注意) 1　※印のある欄は、記入しないでください。
2　代表となる工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等が整合しているか十分確認して記入してください。

(日本産業規格Ａ列４番)

様式１

その１

鉄筋工事及びコンクリート施工計画報告書

コンクリート使用材料及び施工

基礎の種類		□直接基礎 { □ベタ基礎 □布基礎 □独立基礎 } ■くい基礎 { ■場所打ち鉄筋コンクリート杭 □既製杭（PHC杭、SC杭、鋼管杭、その他（ ）) }						
コンクリート確認項目	施工	使用工法	在来		基準	■JASS5(2015年版)□その他( )		
		使用部位	杭	基礎	1階立上り～階床○	○階立上り～△階床	△階立上り～□階床	□階立上り～◎階床	階～ 階
		設計基準強度	27	36	39	36	33	30	
		打設方法	トレミー管打ち	ポンプ打ち	ポンプ打ち	ポンプ打ち	ポンプ打ち	ポンプ打ち	
		使用工法					軽量( )種	モルタル	グラウト
		使用部位	階～ 階	階～ 階	階～ 階	階～ 階	階～ 階		
		設計基準強度							
		打設方法							

コンクリート確認項目	試験・検査計画	品質管理責任者 氏名 ○○建設株式会社 桃田 太郎		工事監理者又は係員氏名	常駐 非常駐
		検査担当者(工事施工者) 氏名 相上 尾花			
		検査項目 打込前	■試練 ■散水 ■配筋 ■かぶり厚さ	豊島 ななまる	常・非
		検査項目 打込中	■テストピース採取 ■打込速度・順序 ■締固め	豊島 ななまる	常・非
		検査項目 打込後	■養生方法 ■養生温度 ■打込欠陥	豊島 ななまる	常・非
		エア・スランプ試験等の代行業者名	○×検査㈱	登録番号 採高強-○○-×××	
		供試体の養生場所・管理者	(公財)○○○○○ｾﾝﾀｰ○□試験室 品川区東大井○-○-○ 養生場所：標準養生 管理者：今栗 筋鉄		
		構造体コンクリート試験機関名	Fc36N/mm² 以下の場合 ㈱○○○○○○ 都登録第試A－○○－(□)－△号 Fc36N/mm² 超の場合 (一財)○○試験所 都登録第試B－○○－(□)－△号		

検査会社、養生場所、養生方法、管理者氏名

Fc36N/mm2超の場合はエア・スランプ試験等の代行業者名同一の会社に依頼できません。

鉄筋使用材料及び施工

使用鉄筋	種別	SD295	SD345	SD390	
	使用径	D10 ～D16	D19 ～D25	D29 ～D32	D

鉄筋確認項目	施工	継手種類	圧接継手		機械式継手		溶接継手		重ね継手(その他)
		使用箇所	基礎、柱、梁主筋		B1F 柱主筋				基礎、スラブ等
		継手工法名（溶接材料）			○○ジョイント				
		継手施工会社(優良圧接業者)	㈱○○圧接(優)		○○（株）				
			A 級	その他	SA，A級	その他	A 級	その他	
		技量確認・施工前試験	有	無	有				
		冷間直角カッターの使用	有	有					
	試験・検査計画	外観検査(%)	100	100	100				100
		引張試験 (箇所／ロット)		5					
		超音波探傷・測定検査(箇所／ロット又は%)	30%		10か所/ロット				
		引張試験併用	有		無				
		引張試験機関名	○○試験所○○試験室 都登録 第試A○○-(×)-△号						
		非破壊検査機関名	○○検査 都登録 第筋○○-(×)-△号 検査者 巣鴨 ○朗 資格 A種-○○○○						
		外観検査実施者	工事監理者・工事施工者／検査機関 都登録 第筋○○-(×)-△号 ○○検査 検査者 千早 △彦 資格 A種-○○○○						
鉄筋コンクリート工事重点管理項目			・配筋が密となる箇所について、鉄筋のあき、かぶりがとれていることを確認する ・コンクリート打込み欠陥部の状況を確認し、欠陥に応じた補修を行う						

優良圧接会社の場合(優)を記入名

鉄筋コンクリート工事を行うにあたり、品質確保のため、重点的に管理する項目について、工事施工者(元請け)、工事監理者それぞれの立場から記入してください。

その２

・捨てｺﾝ、ｽﾛｰﾌﾟ、ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ、防水押えｺﾝは記載不要
・配合計画書を参照して作成してください。(提出は不要です。)

レディーミクストコンクリート工場名※1		○○生コン（株）　××工場			
JIS認証番号	GB○○○○	認証品目	普通、高強度	運搬時間	30分

コンクリートの設計及び仕様による条件

番号 枝番	打込箇所 打設期間 適用期間	コンクリート※2の種類１ コンクリート※3の種類２	設計基準強度(N/mm²) 品質基準強度(N/mm²) 呼び強度(調合管理強度)(N/mm²)	強度管理材齢(日) 養生方法 判定基準強度(N/mm²)※4	セメントの種類 スランプ スランプフロー(cm) コンクリート温度(℃)※5
1	杭	普通	30	28	BB
	R○.○.○ ～R○.○.○	水中	30	標準	18
	R○.○.○ ～R○.○.○			+3)	－
2	基礎	普通		8	M
	R○.○.○ ～R○.○.○	マスコン	36	標準	21
	R○.○.○ ～R○.○.○		40（39）	39（36+3）	35以下
3	B1F立上り～ 2F床	普通		28	N
	R○.○.○ ～R○.○.○	高強度 暑中	39	標準	50
	R○.○.○ ～R○.○.○		43（43）	43（39+4）	35以下
4	2F立上り～ ○F床	普通	36	28	N
	R○.○.○ ～R○.○.○	通常	36	標準	21
	R○.○.○ ～R○.○.○		40（39）	39（36+3）	－
5	○F立上り～ ○F床	普通	33	28	N
	R○.○.○ ～R○.○.○	暑中	33	標準	21
	R○.○.○ ～R○.○.○		40（39）	39（33+6）	35以下
6	○F立上り～ ○○	普通	30	28	N
	R○.○.○ ～R○.○.○	寒中	30	標準	21
	R○.○.○ ～R○.○.○		36（36）	36（30+6）	10以上

打設期間は必ず適用期間内、打設期間は工程計画に応じて打ち込みをする予定の期間

ｺﾝｸﾘｰﾄの打設毎の箇所・範囲

（日本産業規格A列4番）

その３

コンクリート試験計画及び鉄筋試験・検査計画一覧

番号 枝番	打込箇所	打込期間 （　年　月　日） 打込予定数量 (m³)	コンクリート圧縮強度 試験回数 ※1 うち防災センター 試験回数 ※2	番号 枝番	鉄筋接合 箇所 (継手種類)	継手予定 （　年　月　日） 継手予定数量 （箇所）	鉄筋引張 試験回数 ※3 うち防災センター 試験回数　※2	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%) 引張試験併用 (箇所/ロット)
1	杭	R○.○.○ ～R○.○.○ 2000	22 3	1	地中梁 (ｶﾞｽ圧接継手)	R○.○.○ ～R○.○.○ 2600	16 3	0 0
2	基礎 地中梁	R○.○.○ ～R○.○.○ 1000	8 2	2	B1F梁 (ｶﾞｽ圧接継手)	R○.○.○ ～R○.○.○ 1050	3 3	180/6 15/3
3	B1F立上り ～1F床	R○.○.○ ～R○.○.○ 1500	15 3	3	B1F柱 (機械式継手)	R○.○.○ ～R○.○.○ 850	0 0	150/5 －
	・・・				・・・			
○	○F立上り ～○F床	R○.○.○ ～R○.○.○ 1200	10 2	○	○F梁 (ｶﾞｽ圧接継手)	R○.○.○ ～R○.○.○ 780	4 1	0 0
○	○F立上り ～○F床	R○.○.○ ～R○.○.○ 1200	10 2	○	○F柱 (ｶﾞｽ圧接継手)	R○.○.○ ～R○.○.○ 800	0 0	150/5 0

打込箇所 及び 打込予定年月日は
その2に合わせてください。
打込み工区ごと、打込日ごとに記入

継手種類を記入

合計を記入

合計を記入

合　計	打込予定数量 (m³)	コンクリート圧縮強度試験回数	合　計	継手予定数量 （箇所）	鉄筋引張試験回数	超音波探傷・測定検査 (箇所/ロット又は%)
		○回			○○回	○○箇所/ロット
	○○○○㎥	うち防災センター 試験回数		○○○○箇所	うち防災センター 試験回数	引張試験併用 (箇所/ロット)
		○回			○○回	○○

供試体試験 １回の試験のうち （告示第1102号）	28日　3　本 日　本 日　本	支柱早期除去用 部位(梁・床下)	14日　3　本	PS導入用	日　本

（注意）　1　１検査ロットの試験回数は１回とし、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ150m³又はその端数ごとに１検査ロットとする。ただし、高強度コンクリートは１検査ロットの試験回数は３回とし、打込み工区ごと、打込み日ごと、かつ300m³又はその端数ごとに１検査ロットとする。

2　防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

3　１組の作業班が１日に行った圧接箇所を1検査ロットとし、圧接箇所数が200箇所を超えるときは、200箇所ごと及びその端数ごとを１検査ロットとする。抜取り本数は、ガス圧接継手の場合は1検査ロットに対して５本、溶接継手の場合は３本以上とする。

（日本産業規格A列4番）